

三心を磨く

学校だより No. 7

令和5年9月8日(金)発行

須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇◇◇ 「連携・実践・わがこと化」防災の日から考える 校長講話より ◇◇◇◇

今日は防災の日、防災週間にかかわる話をします。皆さんは防災週間がいつか知っていますか？ ちょうど昨日までの一週間、8月30日～9月5日までが防災週間でした。日本中で実施されている週間です。防災の日は知っていますよね。9月1日防災の日。日本中で訓練が行われていました。須坂市でも、多くの小学校ではこの日に訓練が行われました。なぜ、この日が防災の日になっているかということ、関東大震災と言われる、日本の歴史の中で、最も多くの被害者を出してしまった震災が起こっているからです。10万人を超える方々が亡くなってしまいました。10万人というと、だいたい須坂市の人口の2倍ですね。須坂市の2つ分が消えてしまったくらいの大震災でした。10万人のうちの約9万人が火災、煙が原因で亡くなってしまいました。東京の街中が火と煙に覆われた、そんな震災がありました。午前11時58分に起きました。まだこの頃ガスなど整備されてなく、家庭に電気もあまりなくて、どの家庭でも、家の中で火を焚いてお昼ご飯を作っていました。ちょうどそんな時間に地震が起きたので、火災が広がってしまいました。道路もこの写真のような状況です。次の写真は、家族を失って生き残った子どもたちの写真です。おそらく子どもたちは学校で生活していた時間だったので、生き残ることができたのかも知れません。

もう一つ、阪神淡路大震災。1月17日に、この震災は起きました。ちょうどこの頃、私は飯田市で教員をやっていました。飯田は大阪から近い位置にあるのですごく揺れました。先生の友達が、この頃大阪に知り合いがいて、この震災で連絡が取れなくなってしまったために仕事を休んで大阪まで探しに行ったことを思い出します。この震災では、家がたくさん潰れてその下敷きになり亡くなってしまった方が多くいた、そんな震災でした。地震が起こったのは、朝の5時46分でした。まだ眠っている方も多かったり、朝ごはんを食べたりしていた方も多かった時間の地震でした。この写真は、電車の線路が曲がっている様子です。高速道路も倒れてしまいました。もしこの地震の発生が1時間遅ければ、もっと多くの方が亡くなっていたかも知れないと言われている震災でした。NHK 神戸放送局で流された当時の映像を見てください。(映像)。もう一つ震度7の直下型大地震で、どれだけ揺れたのか、コンビニの中の映像を見てください。(映像)。このときは、日本中からたくさんの方が大阪に集まってくれました。日本のボランティア元年とも言われていました。



